

## 2 都心まちづくり戦略の目標

### 2-1 都心まちづくりの目標と目指すべき将来像

#### 都心まちづくりの目標

**世界**に向け魅力を発信し、**市民**生活を豊かに  
する都心の創出

【人・創造・環境】を視点としたまちづくり

#### 目指すべき都心の将来像

**人**を中心とした  
魅力あるまち



人を中心とした魅力的で質の高い空間づくりを進め、多くの人が集い、多様な活動が可能となる場の実現を目指します

新たな文化と活力を  
**創造**するまち



創造性に富む市民が暮らし、外部との交流によって生み出された知恵が新しい産業や文化を育み、絶えず新しいコト・モノ・情報を発信していく「創造都市」の実現を目指します

みどり豊かな  
**環境**にやさしい  
まち



みどり豊かな美しい街並みの創出と環境低負荷型の都市システムの創造により、環境的に持続可能な、次世代に受け継がれる都市の実現を目指します

## 2-2 目標実現のための空間形成の考え方

### 空間形成の力点①

### 4(骨格軸)-1(展開軸)-3(交流拠点)の骨格構造の実現

「都心まちづくり計画」で位置付けた4つの骨格軸と3つの交流拠点に加え、創成川以東地区を含めた一体的な都心域の形成を図るため、東四丁目線を創成川以東地区のまちづくりを支える「展開軸」として新たに位置づけます。これによって、新たな都心の骨格構造を【4(骨格軸)-1(展開軸)-3(交流拠点)】とします。



### 空間形成の力点②

### 交流空間のネットワークの形成

大通公園をはじめとする象徴性のある「骨格的な交流空間」、市民の多様な活動を支える「拠点的な交流空間」を適正に配置します。

これらの規模や性質の異なる交流空間を地上地下の多様性に富んだ街路によってネットワーク化し、新たな回遊、交流を創出します。



■ 交流空間のネットワーク

### 空間形成の力点③

### 界わい空間の創出

人を中心とした空間づくりを進めるためには、象徴的な表通りに加え、街区内に小路を創出するなど、奥行きのある街並みを形成することが重要です。

このため、民間によるまちづくりへの参画を促し、開発などを通じて、身近な公共空間（「界わい空間」）を創出します。

#### 「界わい空間」とは

「界わい性」とは、地域のにぎわいや活気といった、生活感あふれる雰囲気を感じさせる個性的な街並みの様子を指し、一見、バラバラな個別の要素が、全体として合理的にまとまった状態にある場が「界わい性のある空間」とされます。

都心のまちづくりでは、象徴性の高い整った景観を備えた都市軸の強化を図るとともに、表通りにはない札幌の新たな一面を体感し、個々の関心や興味を誘発する、日常に近い空間を「界わい空間」として位置づけ、官民の協働の取組によって創出します。

